

## 令和4年度 社会福祉法人湖南省社会福祉協議会事業報告

### 【社会福祉協議会基本理念】

『一人ひとりが“ぬくもり”と“安心”と“希望”にみちたまちづくりをめざして』

### 第四次地域福祉活動計画に基づく推進事業

### 【地域福祉活動計画の基本理念】

『一人ひとりができる役割 もれない支援 行ったり来たりの思いやりのまち』  
～ “ぬくもり”と“安心”と“希望”にみちたまちづくりをめざして～

令和4年度は、「第四次地域福祉活動計画」の初年度であり、それぞれの基本目標、基本施策の達成に向かい、各事業に取り組みました。

本会では、日頃から「社会福祉協議会の見える化」を意識して市民との顔の見える関係に努め、暮らしの場である自治会や地域まちづくり協議会に出向き、支えあい活動を核に地域福祉活動を進め、地域の福祉力を図ってきました。

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症による影響は甚大で、あらゆる分野で大きな制限を受け、市民の生活は激変しました。感染防止のためやむなく中止や規模を縮小した事業がある一方、オンラインなどの方法を取り入れ感染予防を強化して、できる限り歩みを止めぬよう事業展開を図りました。

以下、基本目標、基本施策（項目）に沿って、令和4年度の事業を次のとおり報告します。

\* 【○○○○事業】は会計区分名

### 基本目標1 地域活動を支える人づくり

地域福祉を推進するには、その担い手となる人材を確保・育成することが必要です。人権教育や福祉教育、多様な交流の推進により地域への関心や福祉意識の醸成を図り、市民のボランティア活動や多様な活動への参加を促進します。また、地域の核となり、けん引役となるリーダーの育成に努めます。

#### 1 人権尊重の推進

##### ① 人権教育・啓発の推進

○あらゆる差別の撤廃や人権擁護の意識を高めるため、市民、ボランティアや福祉団体に対して人権啓発や研修を実施します。

◆市民を対象とした人権啓発を兼ねたテーマ別研修会の開催【地域福祉活動事業】

地域つながり社協の講座 「悪意はない」けど「差別はある」 どういうこと？  
12月3日（金） 湖南省社会福祉センター  
講師 栗本 敦子 参加者 15名

◆ボランティアグループへの人権学習会の実施【地域福祉活動事業】

ボランティア研修会&交流会 「ボランティア活動を通して」  
7月1日（金） 湖南省社会福祉センター  
湖南省視覚障害者福祉協会 園田 哲生さん 西村 藤勝さん 参加者 34名

◆地域団体・福祉団体向けの人権啓発の推進と協力【地域福祉活動事業】

市主催「出会い・気づき・発見講座」「豊かなつながり創造講座」の開催パンフレットを本会指定管理施設で案内と掲示、人権週間時に啓発物の配布に協力しました。

◆市民向け権利擁護セミナーの開催【地域福祉権利擁護事業】

特定非営利活動法人ぱんじーと共催で、3月4日（土）13:30 湖南省社会福祉センターで「身寄りのない方が安心して生活していくために」と題し、特定非営利活動法人ぱんじー所長桐高とよみ氏に講演をお願いした。参加者は17人

○誰もが参加しやすいイベントを企画・開催します。

◆老人福祉センターまつりの開催【石部老人福祉センター管理事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止をしました。

②多様な交流の促進

○各種イベントに参画し、ボランティアや福祉団体等の参加促進など交流の活性化を支援します。

◆ボランティア交流会、ボランティアカフェの開催【ボランティア活動事業】

ボランティア活動の周知と市民との交流を目的に、定期的なボランティア販売会「ボランティア市」を開催し、売上の一部を社会福祉に寄付しました。  
12月19日（月）・20日（火）、2月24日（金）

◆まちづくりセンターまつり、ボランティアまつり、ふれあい広場の支援

【地域福祉活動事業】

ボランティア連絡協議会主催のボランティアまつり、各地域のまちづくりセンターには職員が出向き協力を行った。

### ③多文化共生の推進

○外国人と一緒に活動できるような仕組みづくりと活動を支援しました。

◆市国際協会主催の国際交流サロン、ワールドフェスタへの参画【地域福祉活動事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止および開催できませんでした。

◆外国人住民との懇談会の実施（国際協会との連携）【地域福祉活動事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止および参画できませんでした。

## 2 地域への関心と福祉意識の醸成

### ①地域への関心の涵養

○地域の福祉活動について紹介し、関心を持ち意識を高められるよう取り組みをしました。

◆わがまるフォーラムの開催【生活支援体制整備事業】

広く湖南市民を対象とした支えあいのまちづくりに関する講演会『わがまるフォーラム』を令和5年1月28日（土）甲西文化ホールにて開催。

※地域福祉大会と同時開催

◆地域つながる応援講座、出前講座の開催【地域福祉活動事業】

地域の活動に関心をもっていただくよう、各種のテーマを設定して年間を通じて講座を開催した。また、社協講座を分かりやすく一覧にしたパンフレットを作成し、広く周知できるように工夫した。

◆シニア応援講座【石部老人福祉センター管理事業】

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交代をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

① 楽しい音楽レクリエーション 令和5年2月20日（月）参加者22名

② 反射糸小物づくり教室 令和5年2月22日（水）参加者16名

### ②福祉教育の推進

○ボランティア講座の開催やボランティア体験の機会などを提供します。

◆きつぽらんていあ講座の開催【ボランティア活動事業】

（全7回のうち2回が新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止）参加者延11名

○学校や教育の場における福祉活動や学習会に協力し、理解を得られるよう取り組みます。

- ◆幼、保、こども園など子育て関係機関や学校等との連携した総合学習、文化祭等への協力と助言【ボランティア活動事業】

市内小中学校への福祉体験協力ほか、地域コーディネーターと連携し、ボランティア体験協力の助言を行いました。

- ◆小学校での福祉ボランティア体験の実施【ボランティア活動事業】
- ◆中高生ボランティア体験講座の開催【ボランティア活動事業】

市内小中学校への福祉体験協力

三雲小学校	3年生 89名	手話・視覚障がい者のお話
石部南小学校	3年生 39名	手話・視覚障がい者のお話
菩提寺小学校	3年生 59名	手話・点訳
菩提寺北小学校	3年生 43名	点訳・視覚障がい者のお話
甲西中学校	1年生 129名	手話（道徳）
甲西北中学校	6組教室 4名	点訳

市内小中学校へのボランティア体験協力

甲西中学校	1年生	文化体験講座 《苔玉づくり、パチンコヘリコプター、ウクレレ》
菩提寺小学校		クラブ活動《パチンコヘリコプター、竹とんぼ》
三雲養護学校		小学部低学年部《歌あそび》
石部小学校	1年生	昔遊び交流会《竹とんぼ》
三雲東小学校	1年生	昔遊び《竹とんぼ、ぶんぶんごま》
石部南小学校	1年生	昔遊び《竹とんぼ》
菩提寺北小学校	1年生	昔遊び《竹とんぼ、折り紙》

- ・趣味からはじめるボランティア（お弁当づくり編）  
ひとり暮らし高齢者へ手作り暑中見舞いとお弁当をお届け 学生参加7名
- ・ボランティアまつり  
甲西中学校生 ボランティアスタッフとして学生参加8名

### 3 地域活動への参加・参画の促進

#### ①ボランティア活動の促進

○目的型のボランティアなど各種の養成講座を開催し、ボランティアに関心を持ってもらうとともに、ボランティア活動への参加を促進します。

#### ◆ボランティア入門啓発事業、各ボランティア体験講座の開催【ボランティア活動事業】

レイカディア大学在学学生 ボランティア説明会 参加者 6 名  
趣味からはじめるボランティア講座（バルーンアート編）全 3 回 参加者延 15 名  
趣味からはじめるボランティア講座（お弁当づくり編）全 2 回 参加者延 23 名  
生活支援サポーター養成講座 全 2 回 参加者延 44 名

○ボランティアセンターを運営し、広報紙等でボランティア活動を紹介するなど、ボランティア活動についての情報発信と意識啓発を図ります。

#### ◆ボランティア連絡協議会の支援【ボランティア活動事業】

ボランティアグループ一覧冊子の作成  
ボランティアまつりでのグループ紹介パネルの作成  
7 月 1 日（金）ボランティア研修会&交流会  
3 月 3 日（金）ボランティア交流会  
7 月・10 月 ボランティア連絡協議会広報紙「てと手」発行  
ボランティアまつり主催

#### ②多様な活動への参加促進

○地域における活動が活発になるよう、情報提供や活動発表の場の支援を行います。

#### ◆ボランティアまつりの支援【ボランティア活動事業】

ボランティアまつり 400 名を超える来場者 協力ボランティア延 200 名

#### ◆ボランティア社協会長表彰式での地域実践発表の実施

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

1 月 28 日（土）地域福祉大会 会長表彰受賞グループ パネル展示  
3 月 3 日（金）ボランティア交流会  
過去 3 年会長表彰受賞グループの発表 参加者延 49 名

#### ◆わがまるフォーラムの開催【生活支援体制整備事業】

広く湖南市民を対象とした支えあいのまちづくりに関する講演会『わがまるフォーラム』を令和 5 年 1 月 28 日（土）甲西文化ホールにて開催しました。

※地域福祉大会と同時開催

◆地域担当職員（地域福祉支援員）の配置【地域福祉活動事業】

7つのまちづくり協議会ごとに社協職員を地域福祉支援員として配置。まちづくりセンターまつりなどに参画し地域と連携を図った。

◆子どもの未来について考えるフォーラムの開催【子ども・子育て支援事業】

子どもたちが家庭の経済力に影響されることなく教育を受け、社会の中で自立しているように、私たちに何ができるのか、何をしていくべきなのかを考えるフォーラムを開催し、90人の参加者があった。

実施場所 湖南省甲西文化ホール

開催日 令和4年7月9日（土）10:00～11:50

内 容 講演「子どもは 社会の宝 共生社会の実現と子どもの支援」

滋賀県教育委員会スクールソーシャルワーク スーパーバイザー

上村 文子 氏

事例報告

・「SNS でつなぐ主任児童委員活動」 ー親子支援ー

湖南省民生委員児童委員協議会 主任児童委員

大黒 直子 氏

共 催 湖南省

◆催し物器具貸出事業【善意銀行事業】

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

・貸出件数 合計 33 件 〈昨年 11 件〉

	かき氷機	綿菓子機	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
4 年度	9 件	16 件	7 件	0 件	1 件
〈昨年度〉	(4 件)	(6 件)	(1 件)	(0 件)	(0 件)

◆地域福祉大会の開催【地域福祉活動事業】

福祉関係者や地域住民が一堂に会し、地域福祉を考える交流の場として開催した。

令和5年1月28日（土） 湖南省甲西文化ホールにて

第1部：社会福祉協議会会長表彰状・感謝状贈呈 67 個人、12 団体・事業所

第2部：わがまるフォーラム

講師 兵庫県 淡路市社会福祉協議会 事務局次長 岩城和志氏

第3部：社会福祉協議会マスコットキャラクター発表

最優秀賞 ふわわん（応募総数 167 作品）

ロビー：まち協支えあい活動のパネル展示

### ③寄付による福祉活動への参加

○共同募金等への協力を募り、必要とする市民や団体が活用できるよう取り組みました。

#### ◆誰もがができる善意の支援活動の実施【善意銀行事業】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 1,415,146 円 〈昨年 693,925 円〉

寄付物品 米、マスク、折り紙等

#### ◆赤い羽根共同募金

○赤い羽根（一般募金） 実績 4,270,167 円

○歳末たすけあい運動募金 実績 2,380,506 円

10月3日甲西駅前にて街頭啓発（朝夕2回）実施

11月3日ボランティアまつりにて啓発活動 / あひるすくい、風船、小冊子の配布  
各地域まちづくりセンターまつり等にて啓発コーナーの設置 / 6センター

期間中社会福祉センターにて募金箱の設置

地域商店へ募金箱等設置協力 13店舗

湖南市役所、小中学校へ募金協力依頼

湖南市内企業さまへ募金協力依頼

（一般配分）

・福祉推進校助成金 8校へ助成 / 総額 243,740 円

・高齢者支援事業 10地域 / 総額 861,060 円

・地域福祉活動奨励金 市内全区 / 総額 526,675 円

・社協主催事業への助成 / 総額 920,144 円

（歳末配分）

・75才以上独居高齢者歳末見舞品 対象 845名 / 物品購入費 365,454 円

・歳末たすけあい見舞金 決定件数 88世帯 / 配分金額 1,106,000 円

・歳末たすけあい助成(年末・年始)事業

市内の障がい者施設(GH・通所) (32施設) / 総額 385,000 円

・地域福祉活動奨励金 / 総額 200,000 円

#### ◆子ども未来基金事業【子ども・子育て支援事業】

子どもの居場所づくり事業（子ども食堂、子どもの学習支援事業、その他子どもの支援に関する事業など）を行う団体に対し、必要な資金を助成し、子どもの未来づくり活動を支援する。

・事業準備経費助成金…10万円      ・事業運営経費助成金…5万円

◎令和4年度実績 4団体 272,908 円（準備経費 92,908 円、運営経費 180,000 円）

## 4 地域や団体のリーダーの育成

### ①リーダー養成の推進

○福祉課題のある人を支えられるよう、各種養成講座をはじめリーダー研修等を実施しました。

#### ◆地域リーダーの養成【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

地域で活動する担い手を養成する「地域つながる応援講座」を年間通じて開催した。

#### ◆手話・点字・朗読等に携わる人の養成講座の開催、支援

今年度は実施できなかったため、令和5年度に計画しています。

#### ◆課題について協議する場づくり【地域福祉活動事業】

各学区の第2層地域支えあい推進員、まちづくり協議会と協力し、地域の課題やそれに対して自分たち住民ができること等について協議する場（協議体）の開催に向けて打合せを行い、多い学区では夏から年度末にかけて毎月開催することができた。

○ボランティアコーディネーターを育成するとともに、ニーズに応えられるよう、研修等を行いました。

### ②地域コーディネーターの育成

○第1層地域支えあい推進員が第2層地域支えあい推進員の活動を支援し、地域のニーズに応えられる活動に取り組みました。

#### ◆地域支えあい推進員研修会および連絡会議の開催【生活支援体制整備事業】

・今年度新たに推進員やまち協役職員となった方がおられることを考慮して、6月に高齢福祉課・1層推進員による学習会を開催し、生活支援体制整備事業・地域支えあい推進員の役割等、基礎的な内容について学ぶ機会としました。その後、7月、10月には支えあい活動推進に関する具体的な手法等を学ぶ養成講座を開催し、淡路市社会福祉協議会事務局次長の主任生活支援コーディネーターである岩城和志氏にリモートで講演いただきました。（3月にも予定していましたが、講師とこちらの都合が合わず中止としました。）

・毎月第3水曜に、2層推進員全員が出席する「地域支えあい推進員連絡会議」を開催し、2層推進員同士の情報交換のための機会を設けました。



◆地域支えあい推進員の活動の周知【生活支援体制整備事業】

地域支えあいについて啓発・普及するための情報紙「わがまる通信」年4回を発行しました。今年度は、各学区の支えあいに関する活動や居場所をジャンルごとに具体的に紹介することを目的に、実際に現地取材し、参加者・利用者や取り組んでいる住民の方に直接インタビューした内容を写真と共に掲載しました。

**基本目標 2 地域で支え合う力を高めるつながりづくり**

ひとり暮らしの高齢者や子育ての不安に悩む親、障がいのある人など、地域には見守りや支援が必要な人が暮らしています。災害時などには、互いに助け合うことも不可欠です。安心して暮らせる地域をつくるために、困ったときに支え合ったり、助け合ったりできる地域のつながりづくりを推進しました。

**1 地域における顔の見える関係づくり**

①地域における交流・ふれあい活動の推進

○身近なところでの小地域福祉活動を推進しました。

◆小地域福祉活動推進研修会の開催【地域福祉活動事業】

地域つながる応援講座やわがまるフォーラムで小地域福祉活動についての啓発を行った。

令和4年9月3日（土）講師：夢こらぼ主宰 松尾 やよい 氏

これからの時間を楽しむために「10万時間の使い方・活かし方」など各種講座を開催

○地域コーディネーターや主任児童委員などと連携し、子育てを通じた交流を支援しました。

◆子ども未来基金事業の助成【子ども・子育て支援事業】

基本目標 1 - 3 で記載の通り

◆「すずめの学校」子育て支援Vすずめへの協力【子ども・子育て支援事業】

10月～3月 子育て支援だけでなく、ボランティアとの交流を目的に全6回開催

②世代間交流の促進

○子どもと高齢者や青年層との交流、および子どもの遊びの場づくりを進めました。

◆ボランティアによる昔遊びの伝承の場づくりの支援【ボランティア活動事業】

基本目標 1 - 3 で記載の通り

#### ◆世代間交流の場づくり【地域福祉活動事業】

市内4か所の子ども食堂に対し、寄付で受け付けた食料や物資を提供した。またロータリークラブ主催の子ども食堂サミットを支援・協力した。

子ども食堂サミット 令和5年3月18日(土) ここぴあ

#### ③新たなつながり方の構築

○新しいつながり方を検討・実施し、関係機関や団体への普及に努めました。

#### ◆ICT機器の使い方講習会の開催【地域福祉活動事業】

実施はありませんでした。

#### ◆オンラインを活用したイベントの開催(つながる演奏会・カフェ)

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

7月に高齢者施設とボランティアグループをつないで、つながる演奏会を企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

#### ◆あったかこころを届けよう♡みんなのおてがみプロジェクト【地域福祉活動事業】

広く市民に呼びかけ、閉じこもりがちな方や医療・福祉施設従事者に対して、応援メッセージを届けるプロジェクトを企画、実施しました。

市内こども園、小学校、中学校、高校、一般市民の方から約1,850枚のメッセージカードの提供。

配布先) 医療機関・高齢者施設従事者さま 約500枚 65施設

75歳以上一人暮らし高齢者(歳末見舞品同封) 約900枚

高齢者施設入所の方 約450枚 12施設

#### ◆先進事例の情報提供と実行への支援【地域福祉活動・生活支援体制整備事業】

2か月に1回、7つのまちづくり協議会ごとに「まちづくり連絡会議」という定例会議を開催し、2層推進員が孤立することなく、まちづくり協議会役員及びまちづくりセンター職員と一体になって支えあい推進活動に取り組んでいけるよう、情報共有・連携強化を目的とした時間を設けました。会議では学区の課題や今後の取り組みについて出席者全体で共有することをはじめ、他学区や他市町の支えあいの取り組みについての情報をやりとりする有意義な時間となるよう努めました。

## 2 地域コミュニティの強化

#### ①まち協や区・自治会活動の促進

○地域担当職員を配置し、地域まちづくり協議会などの会議や活動の場に参加しました。

#### ◆地域担当職員(地域福祉支援員)の配置【地域福祉活動事業】

基本目標1-3で記載の通り

○地域まちづくり協議会に対し、支え合い活動の立ち上げや運営の支援をしました。

◆絆づくり交付金事業【地域福祉活動事業】

みんなで支えあう安心の地域づくりを目指して、地域まちづくり協議会が行う事業に対して、交付金を交付しました。

まちづくり協議会に対し、地域の福祉課題を自主的に解決しようとするための事業に助成した。 まちづくり協議会 7か所 上限 12万円

②地域で活動する団体等への支援

○ボランティア団体やNPO、事業所等の地域活動を支援しました。

◆福祉団体等活動助成金の交付【助成事業】

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、甲西・石部赤十字奉仕団、更生保護女性会、身体障害者更生会、保護司会に活動助成を交付しました。

◆ボランティア活動助成金の交付、民間助成金申請の支援【ボランティア活動事業】

ボランティア活動保険加入者（ボランティアセンター登録）594名（前年度646名）  
ボランティア活動助成金交付団体 39団体（前年度41団体）

○地域で福祉活動を実践する住民や団体等の交流を促進しました。

◆区（自治会）活動助成金の交付【助成事業】

各区の前年度（令和3年度：5,491,260円）の社協会費額の50%を地域福祉活動のために助成した。 助成額合計2,745,300円 <前年度2,807,700円>

### 3 地域における見守りの充実

①見守り活動の推進 ②虐待・DVの早期発見・早期対応

○地域での見守り活動の推進に努め、ひとり暮らし高齢者などに対し、見守り活動についての周知を行い、利用を呼びかけました。

◆ふれあい給食による安否確認、生活支援サポーターによる見守りの実施

【地域福祉活動事業】

ふれあい給食 全21回実施

調理登録ボランティア数 20名 / 配達ボランティア数 22名

登録人数 58名 / 配食数 延べ807食 / 要安否確認 27回

生活支援サポーター

利用登録者数 14名 / サポーター登録数 34名 / 訪問回数 198回

○福祉についての学習会などで、虐待やDV、ひきこもり等の地域生活課題について、正しい理解と市民の関心を高めました。

◆市民向け権利擁護セミナーの開催【地域福祉権利擁護事業】

基本目標1-1で記載の通り

◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

新型コロナウイルス感染症の影響のため、地域、福祉団体等依頼がなかった

③自殺対策の推進

○地域福祉権利擁護事業や生活福祉資金貸付の相談業務において、自殺のサインを見落とさないように努めます。また、地域の緩やかな見守り体制の構築に努めました。

◆生活福祉資金貸付事業等による早期発見【生活福祉資金貸付事業】

基本目標 3 - 2 で記載の通り

## 4 地域活動の基盤の充実

①地域における活動の拠点づくり

○指定管理施設の社会福祉センターやふれあいの館等の施設を市民が利用しやすいよう、利便性の向上に努めました。

◆・施設管理事業、施設管理施設での活動発表の場づくり

【社会福祉センター・ふれあいの館・石部老人福祉センター管理事業】

### 社会福祉センター

市（福祉政策課）から指定管理（令和3年度～令和5年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行った。

#### 貸館状況

年間延べ	1,306 件	〈昨年 982 件〉
平均	約 108 件/月	利用

### ふれあいの館

市（福祉政策課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行った。

#### 貸館状況

年間延べ	503 件/3,565 人	〈昨年 延べ 432 件〉
約 42 件/297 人	月 利用	

「ふれあいサロン」の開催（たまり場事業） 毎週 囲碁などを通して交流の場を提供した。

備品の貸し出し 文具・ゲームセット・遊具など その他ボランティアグループに対しマイク・アンプなど貸し出した。

## 老人福祉センター

市（高齢福祉課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務を行ったが、高齢者を対象にした風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

### 貸館状況

年間延べ	454件	<昨年 延べ376件>
------	------	-------------

平均	約 38件/月	利用
----	---------	----

= “和の湯” 利用状況（利用料1回 100円） =

年間延べ	0名	<昨年 延べ0名>
------	----	-----------

平均	約 0名/月	利用
----	--------	----

= 軽運動場管理事業 =

年間延べ	412件	<昨年 延べ429件>
------	------	-------------

平均	約 34件/月	利用
----	---------	----

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

延べ	0名参加	<昨年延べ0名>
----	------	----------

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

## ②地域における協議の場づくり

○地域まちづくり協議会ごとの実施が求められている第2層地域支えあい推進会議の開催・運営を支援し、住民同士の協議を促進しました。

◆第2層地域支えあい推進会議の開催、運営支援【生活支援体制整備事業】

定期的に住民や自治会関係者等が集まり地域の困りごとや課題・今後必要な取り組み等について話し合う場が設けられた学区があり、その開催に向けてまち協・2層推進員と共に打合せを重ねてきました。学区によっては地域住民の方が多く参加している会議もあり、支えあい活動のボランティアグループの立ち上げについて具体的な協議が行われました。

◆地域活動マップの作成支援【生活支援体制整備事業】

地域情報の見える化に向けての取り組みを推進しました。

2層推進員が収集した地域資源をまとめた資源リスト・資源マップの作成について、今年度は思うように進めることができませんでした。次年度は、リストの様式をより入力しやすく修正し、今一度2層推進員に内容の更新を依頼します。その上で湖南市全体の資源リストとして集約したのち、今年度暫定版の資源リストを作成し、公開先を限定して配布できればと計画しています。

## 基本目標 3 安全・安心に暮らせる地域づくり

誰もが安全・安心に暮らすために、防災・防犯対策に取り組むとともに、様々な困難や生活上の課題を抱える人が必要な支援を受けられ、安心して暮らせる仕組みづくりを進めました。また、ユニバーサルデザインのまちづくりや、高齢になっても移動や住む場所に困ることがない生活環境の整備を推進しました。

### 1 防災・防犯体制の充実

#### ①防災・減災の推進

○災害ボランティア養成講座を開催し、災害ボランティアへの登録を推進しました。

#### ◆災害ボランティア養成講座の開催【地域福祉活動事業】

7月 2日（土） 災害 NGO 結代表 前原氏の講演 40名参加  
8月 27日（土） 災害ボランティアセンター運営机上訓練 43名参加  
9月 26日（土） 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 49名参加

#### ◆災ボラカフェの開催【地域福祉活動事業】

災害について、市民が体験実習やゲームをとおして、堅苦しくなく語りあうことを目的に開催した。

8月 27日（土） 市民による災害ボランティア活動体験  
10月 21日（金） 非常食について ローリングストックの基本を学ぶ  
12月 16日（金） 災害ゲーム体験Ⅰ  
3月 17日（金） 災害ゲーム体験Ⅱ

○災害発生時に災害ボランティアセンターの設置・運営、ボランティアの受け入れやコーディネート円滑に行えるよう、定期的に設置運営訓練を実施しました。

#### ◆災害ボランティアセンター設置運営訓練【地域福祉活動事業】

9月 26日（土） 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 49名参加

#### ◆災害ボランティアセンター啓発活動とボランティア登録制度の推進

【地域福祉活動事業】

基本目標 3 - 1 で記載の通り

#### ◆発災時に備え職員の初動体制と市外への派遣体制の確立【地域福祉活動事業】

事業継続計画作成の検討 災害についての情報収集と研修会の参加  
災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施と参加

#### ②避難行動要支援者の支援

○災害ボランティアセンター設置運営訓練時に、災害ボランティアが災害時要配慮者を訪問して、情報提供とヒアリングを行い、平常時からつながる体制づくりに努めました。また、継続した生活 の状況確認を行いました。

◆災害ボランティアセンターのニーズ班活動訓練の実施【地域福祉活動事業】

基本目標 3 - 1 で記載の通り

◆避難所運営の協力【地域福祉活動事業】

未実施 実施できていません

③地域防犯体制の推進

○市、地域や関係団体と連携して、見守り活動や啓発情報の発信に取り組み、防犯意識の向上を図りました。

◆広報紙（ふくしの輪）等による情報提供【広報発行事業】

令和4年 5月発行（増刊 5月号 自治会区回覧）

令和4年 6月発行（通刊 47号 新聞折込）

令和4年 8月発行（増刊 8月号 自治会区回覧）

令和4年 10月発行（通刊 48号 新聞折込）

令和4年 12月発行（増刊 12月号 自治会区回覧）

令和5年 2月発行（通刊 49号 新聞折込）

◆社会を明るくする運動への参画【地域福祉活動事業】

法務省が主唱する犯罪を犯した人の更生と非行防止を運動の目的とする、「社会を明るくする運動」の啓発事業推進に協力した。啓発活動と推進大会の参画

湖南省推進大会の参画

日時 令和4年7月1日（金） 10：00 場所 サンライフ甲西

内容 内閣総理大臣のメッセージ伝達式  
啓発のぼり旗の設置活動

## 2 困難を抱える人への支援の充実

①権利擁護の推進（成年後見制度利用促進計画含む）

○判断能力の不十分な認知症高齢者、障がい者等が自立し安心して地域生活を送れるよう支援しました。【地域福祉権利擁護事業】

○地域福祉権利擁護事業の周知を行うとともに、専門員や生活支援員の資質向上など支援体制の強化に努めました。

◆地域福祉権利擁護事業【地域福祉権利擁護事業】

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

- ・契約件数：62件 <昨年 66件>
  - 内訳：認知症高齢者等 7件 知的障がい者等 28件
  - 精神障がい者等 17件 その他 10件
- ・年度内新規契約：4件（認知0、知的1、精神1、その他2）
- 解約：8件（認知3、知的1、精神2、その他2）

問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	2	1	5	10	18
問い合わせ初回相談	8	3	13	10	34
相談援助	657	1,144	1,323	1,003	4,127
<b>計</b>	<b>667</b>	<b>1,148</b>	<b>1,341</b>	<b>1,023</b>	<b>4,179</b>
<昨年度計>	(941)	(1,199)	(1,135)	(554)	(3,829)

○甲賀・湖南成年後見センターぱんじーや市と連携し、成年後見制度に関する情報提供や利用支援に取り組みました。

◆成年後見制度の利用支援【地域福祉権利擁護事業】

甲賀圏域権利擁護支援推進協議会にて情報課題の共有を行った。

②生活困窮者への支援

○各種相談や事業において生活相談を行い、必要に応じて生活福祉資金の貸付や就労支援等へつなげました。

◆家計改善支援事業【生活困窮者家計改善事業】

市福祉政策課(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計改善支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

項目	世帯数/件数
利用世帯数	5世帯/年 昨年(4)
相談件数	13件/年 〃(1)
支援件数	49件/年 〃(32)

※相談件数…契約前の相談数 支援件数…契約後の支援件数



◆生活福祉資金貸付相談【生活福祉資金貸付事業】

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

令和5年1月からは特例貸付の償還が始まるとともに、償還免除、償還猶予の制度が設けられ、順次申請を受け付けた。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		22（昨年14）

○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金		101（昨年55）	3（昨年1）
〃【特例貸付】		720（外431）	106（外39）

※外…外国籍申請者

【特例貸付】…コロナで失業や収入が減った人が貸付対象

◎申請受付は令和2年3月25日～令和4年9月30日まで

◎延長貸付は令和3年6月30日、再貸付は令和3年12月31日にて終了

○失業による生活貸付（県）

※外…外国籍申請者

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金		7（昨年10）	0（昨年0）
〃【特例貸付】【初回】		741（外320）	126（外49）
〃【特例貸付】【延長】		0（外0）	0（外0）
【特例貸付】【再貸付】		0（外0）	0（外0）
【特例貸付】合計		741（外320）	126（外49）

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
福祉資金		24（昨年29）	2（昨年1）
教育支援		40（昨年37）	7（昨年4）
不動産担保型生活資金		0（昨年1）	0（昨年0）

#### ◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

生活困窮世帯等への食糧支援と食品ロス解消を目的に7月と12月に実施した。社会福祉センター等の社協管理施設、市役所、市内まちづくりセンター、石部高校、甲西高校、岩根やまりゅうと、新たに医療生協こうせい駅前診療所にのぼり旗と回収ボックスを設置して食料品の寄付を募り、市民の方々や法人より食料品の提供をいただいた。コロナ緊急貸付申請世帯、自立支援金受給世帯、共同募金歳末たすけあい見舞金申請世帯を中心に合計357世帯に配布した。

	7月	12月
・食料品収集	: 7/4～7/14	11/24～12/7
・寄付総重量	: 約1,238kg	約1,267kg
・配付世帯数(人数)	: 157世帯	200世帯
・協力団体	: 市内まちづくりセンター、湖南市民児協、甲西赤十字奉仕団、石部赤十字奉仕団、更生保護女性会、石部高校、甲西高校、フードバンクびわ湖、フードバンク滋賀、水口青年会議所、岩根やまりゅう、医療生協こうせい駅前診療所、湖南市文化体育振興事業団	

#### ③子どもや子育てへの支援

○身近な公共施設等で子育て中の親子の交流の場づくりや、地域での見守り活動の推進に努めました。

#### ◆未就園児の子と親を対象とするすずめの学校の支援【ボランティア活動事業】

ボランティアとの交流を目的に10月～3月で開催された。

#### ◆多胎児家庭ホームヘルプサービス事業【子育てホームヘルプサービス事業】

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 3名、7回/年 <昨年計 1名、36回/年>

約 0.25名/月、0.6回/月 <昨年計 1名、3回/月>

#### ◆子育て支援ヘルプ事業【子育てホームヘルプサービス事業】

生後3歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ2名、3回/年 <昨年計 1名、21回/年>

約 0.15名/月、0.25回/月 <昨年計 1名、1.7回/月>

◆産後育児家事支援事業【子育てホームヘルプサービス事業】

出産後の退院日から2か月末までの産婦のいる世帯に対し、家事や育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ5名、28回/年 <昨年計 4名、16回/年>

約 0.4名/月、2.3回/月 <昨年計 1.3名、0.3回/月>

④障がいのある人やその家族の支援

○障がいのある人やその家族の交流を図り、見守りの促進や相談支援を行いました。

◆障がい児余暇支援事業【子ども・子育て支援事業】

ホリデーフェスティバル2022

ホリデースクール委託事業の終了に伴い、障がい児を対象とした家庭や、学校以外の居場所を提供するモデル的事業に取り組んだ。

児童の保護者や関係者の意見を聞く中で、事業の継続や保護者の交流サロンへのニーズがわかった。実施主体の構築を模索しながら継続する方向性となった。

実施場所 湖南省社会福祉センター

開催日 令和4年11月26日(土)【1回目 9:30~12:00】【2回目 13:00~15:30】

参加状況 参加児童生徒 18名

保護者 15名

スタッフ 民生委員・児童委員 23名

中学生ボランティア 11名

ボランティア 12名

団体・市職員及び社協職員 43名 総合計 122名

◆障がい者相談支援事業【障がい者計画相談支援事業】

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ26名/年 約2人/月 <昨年延べ32名/年>

◆訪問介護事業【障がい者総合支援事業】 ◆同行援護事業【障がい者総合支援事業】

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 292 名／年 ＜昨年 272 名／年＞	利用者 延べ 88 名／年 ＜昨年約 74 名／年＞
約 24 人／月 ＜昨年 22 人／月＞	約 7 人／月 ＜昨年 6 人／月＞
訪問回数 延べ 1,768 回 ＜昨年 1,916 回／年＞	外出回数 延べ 318 回 ＜昨年 269 回／年＞
約 147 回／月 ＜昨年 159 回／月＞	約 26 回／月 ＜昨年 22 回／月＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

2 対 1	3 対 1
利用者 延べ 38 名／年 ＜昨年延べ 21 名／年＞ 約 3.1 名／月	利用者 延べ 32 名／年 ＜昨年 10 名／年＞ 約 2.6 名／月
訪問回数 延べ 118 回 ＜昨年延べ 68 回／年＞ 約 9.8 回／月	訪問回数 59 回 ＜昨年延べ 24 回／年＞ 約 4.9 回／月

⑤ひきこもりへの支援

○ひきこもりや地域で孤立している人が社会参加できるよう、集いの場などにつなげる取組を行いました。

◆地域資源の情報提供と参加支援【地域福祉活動、生活困窮者支援事業】

県域での資源マップを掲示、配布するとともに、県域ひきこもり家族教室のサテライト会場として、県社協、関係機関と協力しました。

⑥再犯防止の推進（再犯防止推進計画）

○市や保護司等と連携して、更生保護への理解促進と再犯防止を支援しました。

◆社会を明るくする運動へ参画【地域福祉活動事業】

基本目標 3 - 1 で記載の通り

### 3 健やかに暮らし続けるための取組の推進

#### ①身近な集いの場づくり

○市民が地域に出かけ、そこで同じ興味を持つ人同士が集える場、教室等への参加ができるようにつなげていきました。

#### ◆集う場へ参加するきっかけづくり【地域福祉活動事業】

市内各学区で開催されている高齢者や子どもを対象とした様々な居場所や住民同士の支えあいの活動等について紹介する広報誌を年4回発行し、広く市民に地域活動を周知した。

#### ◆地域リポーター（モニター隊）事業の取組

地域の方からお聞きした地域情報をSNSやホームページにより、広く情報提供を行います。また社協からのお知らせを定期的に行い、さまざまな活動を周知していきました。

各地域ごとに社協事業への提言、広報紙、配布物等の評価や意見あるいは地域の社協に関連する情報提供をいただく市民モニターを設置して、社協活動の向上につなげる「地域リポーター制度」の設置検討を行った。

#### ◆男性の活動拠点づくりの支援（仮）おっちゃんずカフェ【地域福祉活動事業】

令和4年度は検討の段階で終わりました。次年度は地域が主体となり男性の居場所づくりを進めることができるよう地域に働きかけます。

#### ②認知症対策の推進

○サロンなど様々な場面を通じて認知症に関する情報提供に努め、認知症予防や認知症への理解促進に努めました。

#### ◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

新型コロナウイルス感染症の影響のため、地域、福祉団体等依頼がなかった

#### ◆みくも生きいきサロンの実施【生きがいサロン事業】

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者 17名

年間 24回開催 延べ 296名参加<昨年延べ 263名>

平均 約 12名/回 参加

◆いきいきサロンなごみの実施【デイサービス事業】

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者 18名<昨年12名>
----------------

年間 98回開催 延べ612名参加 <昨年延べ563名>
------------------------------

平均 約6名/回、 約51名/月 参加
---------------------

利用者の送迎 612名/年
---------------

③健康づくり・フレイル予防の推進

○市民が興味のある活動や得意なことを行うことにより、やりがいや生きがいを持ち、地域で活躍できるよう支援に努めます。また、健康意識の向上やフレイル予防のため、健康づくりに関する情報の発信や意識啓発に努めました。

◆活動のコーディネートやボランティア活動の推進【ボランティア活動事業】

ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市23か所（保育園4か所、幼稚園2か所、こども園1か所、小学校3ヶ所、市外児童施設1か所、高齢者施設6か所、公共施設6か所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

④地域における生活支援の仕組みづくり

○生活支援サポーターを養成し、地域での声かけ・見守りに取り組むとともに、地域における住民主体の生活支援の取組を支援します。

◆ふれあい給食サービス【地域福祉活動事業】

ふれあい給食 全21回実施

調理登録ボランティア数 20名 / 配達ボランティア数 22名

登録人数 58名 / 配食数 延べ807食 / 要安否確認 27回

◆生活支援サポーター事業【地域福祉活動事業】

生活支援サポーター

利用登録者数 14名 / サポーター登録数 34名 / 訪問回数 198回

#### ◆生活支援体制整備事業【生活支援体制整備事業】

ある学区では、まちづくり協議会役職員や区長等といったいわゆる代表者ではなく、出席者のほとんどが地域住民の小規模な会議があり、2層推進員が進行役となって、支えあい活動のボランティアグループの立ち上げ等について具体的な協議が行われています。今後も課題共有のためだけでなく、より具体的な取り組みにつながっていくような協議の場が全ての学区で開催できるようにサポートしていきたいと考えています。

#### ⑤感染症対策の推進

○感染症等による地域停滞状態から脱却するため、地域でつながりを持ち続けるように努めました。

#### ◆新しいつながり方の情報提供【広報発行事業】

湖南省社会福祉協議会 公式LINEの作成、ホームページ随時更新しました。

#### ◆オンラインによる交流促進【地域福祉活動事業】

市内の高齢者関係施設にオンラインを用いたボランティア訪問アンケート実施

#### ◆つながる演奏会【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

前項にもあるように企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 4 安心して生活できる環境の整備

### ①バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

○バリアフリーやユニバーサルデザインへの理解向上に取り組みます。

#### ◆・小、中、高生福祉体験講座の開催【ボランティア活動事業】

基本目標1 - 2で記載の通り

#### ◆福祉機器（車椅子）貸出事業【善意銀行事業】

車椅子の貸し出し 貸出回数 57回 〈昨年 37回〉

### ②移動しやすいまちづくりの推進

○地域の支え合いによる移送サービスの検討について、協議への参加と情報提供を行い、取組を支援しました。

#### ◆地域まちづくり協議会での検討支援【地域福祉活動事業】

菩提寺まちづくり協議会において、地域の高齢者等の移送支援についての協議が行われており、そのための事前打ち合わせに出席し、他地域の先進事例をお伝えするとともに、協議を円滑に進めていく方法等をお話してきました。

#### ◆福祉有償運送事業の実施【福祉有償運送事業】

特定旅客自動車運送事業者(道路運送法 43 条及び 78 条を取得)として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 279 名、552 回/年 <昨年計 233 名、462 回/年>

約 23 名/月、46 回/月 <昨年計 19 名/月、38 回/月>

#### ③居住に課題を抱える人への支援

○居住に不安のある方に対し、生活相談と必要な支援につなげるように努めました。

#### ◆生活福祉資金貸付等の生活相談支援【生活福祉資金貸付事業】

基本目標 3 - 2 で記載の通り

### 基本目標 4 適切な支援を届けるための体制づくり

制度のはざまや複数の分野にまたがる複合的・複雑的な課題がみられており、必要に応じて 複数の部署や関係機関等と連携して包括的な支援に取り組み、支援が必要な人をもらさない仕組みを検討しました。生きづらさを抱え社会的に孤立している人などに対し、アウトリーチによる支援、社会参加 のきっかけづくりや居場所づくりに取り組みました。

#### 1 包括的な支援体制の構築

##### ①断らない相談支援の構築

○権利擁護や生活困窮の相談において、複合的・複雑的な課題の発見に努め、必要に応じ適切な他機関につなぎました。

#### ◆生活相談事業【生活福祉資金貸付事業】

基本目標 3 - 2 で記載の通り

##### ②アウトリーチによる伴走的支援の強化

○自分から助けを求めることができない人へのアウトリーチによる相談や潜在的ニーズの掘り起こしに取り組みました。

#### ◆民生委員・児童委員との連携【地域福祉活動事業】

フードドライブ事業や歳末たすけあい運動など、民生委員・児童委員との協働により、生活困窮者等の支援につなげた。

##### ③参加・就労等の支援

○地域で孤立している人の社会参加のきっかけづくりに取り組みました。



◆コーディネーターによる地域資源とニーズのマッチングの実施

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

甲賀・湖南ひきこもり支援「奏<sup>ちから</sup>ーかなでー」の力プロジェクトにおいて、地域支えあい活動との共働プロジェクトを推進した。

④関係機関との連携強化

○市や関係機関と連携し、分野を横断したきめ細かい相談支援に努めました。

◆障害児・者サービス調整会議への参加【地域福祉権利擁護事業】

定例の障害児・者サービス調整会議へ参加しました。

◆地域ケア会議等への参加【生活支援体制整備事業】

今年度は中学校区ごとに開催され、いずれの会議にも地域担当が出席し、地域の様々な課題とその解決に向けての情報共有を図りました。

## 2 情報発信・共有の充実

①福祉に関する情報の発信

○制度や事業に関する出前講座の実施や、地域福祉活動の先進事例の提供等を行いました。

◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

新型コロナウイルス感染症の影響のため、地域、福祉団体等から依頼がなかった。

◆広報紙（ふくしの輪等）による情報提供【広報発行事業】

基本目標 3 - 1 で記載の通り

◆公共施設、学校、商業施設への福祉情報提供事業【広報発行事業】

社協広報紙「ふくしの輪」を公共施設、学校、商業施設へ情報提供しました。

◆ホームページ・ブログ等インターネットによる情報提供【広報発行事業】

湖南市社会福祉協議会 公式 LINE の作成、ホームページ随時更新しました。

②関係機関による情報の共有

○支援を必要とする人についての関係者会議の実施等、情報共有や関係機関とのネットワークの構築に努めました。

◆地域ケア会議や支援会議、地域支えあい推進会議への参加

【生活支援体制整備事業】

各中学校区で開催された地域ケア会議には全て出席し、第2層の推進会議(協議体)に関しては、打合せの段階から参加し、まちづくり協議会・2層推進員と協議を重ねてきました。

③わかりやすくきめ細かな情報提供

○手話、点訳、通訳、翻訳などを必要とする人への情報提供を充実できるよう、ボランティアの育成と活動支援に努めました。

◆養成講座の開催、支援【ボランティア活動事業】

今年度実施はなし

◆小、中、高生体験講座の開催【ボランティア活動事業】

基本目標3 - 1で記載の通り

### 3 福祉サービス提供体制の充実

①福祉人材確保の促進

○サービス提供事業者として人材の確保に努めます。また、職員のスキルアップを図るとともに、必要に応じて、地域福祉のノウハウを伝えました。

◆社協職員の地域派遣【地域福祉活動事業】

第1層地域支えあい推進員が地域の協議体や地域ケア会議等に出席した。また地域福祉支援員を配置しまち協行事に協力した。

②福祉事業所の確保

○制度のはざまなど福祉サービスのニーズを把握し、福祉事業者等による新たな事業の立ち上げや新規事業者の参入の支援に努めます。

◆地域や事業所と一緒に取組を考える仕組みづくり【生活支援体制整備事業】

さわらび福祉会・ワークステーション虹が主体となっている、ゴミ出しの困りごとを抱えている地域住民の支援と、ひきこもりの方の社会参加の機会創出という、この2つを結びつける事業があり、その立ち上げに向けた会議に参加し、行政と連携しながら協議を進めてきました。結果として事業は中止となりましたが、引き続き市内の団体・事業所ができることを検討していきたいと考えています。

③福祉事業所との連携促進

○市と連携して、多様な事業者によるネットワークづくりを進めます。

◆多分野ネットワーク会議の構築【生活支援体制整備事業】

基本目標4 - 3で記載の通り

#### ◆第1層地域支えあい推進会議の開催【生活支援体制整備事業】

今年度は10月と令和5年2月に会場で開催することができました。初回10月は、7つの学区ごとにブースを作成し、2層推進員による地域の活動紹介をはじめ、出席していただいた委員と2層推進員との顔合わせ・情報交換を行うことで、団体・事業所等と地域がお互いを知り、つながりを持ってもらうための機会としました。

2月に開催した2回目では、地域支えあいに関連する「居場所づくり」、「生活支援」、「防災」、「協力者の発掘」という4つのテーマごとにグループディスカッションを行い、地域の課題や支えあい活動の現状を交えながら、委員と2層推進員が、それぞれできること・協働でできること等について語り合いました。

地域課題の共有と解決に向けた話しあいや、市全域で取り組む必要がある活動について多分野との連携および協議・検討

#### ④社会福祉法人による地域貢献の推進

○企業の社会貢献活動や社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進を図ります。

#### ◆地域とつながる取組検討【地域福祉活動事業】

第1層地域支えあい推進会議において、福祉団体や事業所の出席をいただき、地域の支えあい活動について話し合った。

#### ◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

基本目標3 - 2で記載の通り

## 4 地域福祉の推進体制の強化

### ①協働による地域福祉の推進

○地域や企業・事業者、市などと横につながるコーディネートを行い、協働による地域福祉の推進に取り組みます。

#### ◆第1層および第2層地域支えあい推進会議【生活支援体制整備事業】

基本目標4 - 3で記載の通り

### ②市（庁内）連携体制の構築

○市との連携を強化します。

#### ◆市の庁内連携組織への参加【社会福祉協議会全事業】

福祉政策課はじめ庁舎内の関係機関と事業の協議を行いました。また、市関連委員会や協議会の委員として参画しました。

③関係機関・企業等との連携強化

○学校、地域の団体、ボランティア等との連携のほか、企業の社会貢献活動とのさらなる連携により、地域福祉の推進に取り組みます。

◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

基本目標 3 - 2 で記載の通り

◆財源検討部会の開催【本部事業】

1月25日開催予定であったが、大雪のため中止とした。各部会員には、書面での意見集約を行い理事会にて報告を行いました。

④関係職員の資質の向上

○コミュニティソーシャルワーカーとしての資質の向上のため、積極的な研修の受講を促進します。

◆職員研修および学習会の開催【本部事業】

滋賀県社会福祉協議会研修センターをはじめ市や関係する機関が主催する研修会に職員を参加させた。また、年2回本会主催の役職員研修を実施しました。  
(詳細は本部事業報告のとおり)

【組織運営に関する事項】

本部事業

(1) 本部事業

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案 件
4年6月3日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 議案第1号 令和3年度事業報告並びに会計決算書について 議案第2号 令和4年度定時評議員会の招集及付議案件について 議案第3号 第1回評議員選任・解任委員会の招集及び付議案件について 議案第4号 理事・監事候補者(案)の推薦について 議案第5号 評議員候補者(案)の推薦について

4年9月7日	報告事項 議長事項 議長事項 議長事項	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和4年度第一次会計補正予算（案）の承認について 社会福祉協議会表彰規程（案）制定の承認について
4年12月13日	報告事項 議長事項 議長事項 議長事項	会長・常務理事の職務執行状況報告等 理事候補者（案）の推薦について 評議員候補者（案）の推薦について 第2回評議員選任・解任委員会の招集及び付議案件について
5年3月10日	報告事項 議長事項 議長事項 議長事項 議長事項	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和4年度第二次補正予算（案）の承認について 令和5年度事業計画及び予算（案）の承認について 令和5年度基金積立金の積立及び取り崩しについて 第3回評議員会の招集及び付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案	件
4年6月17日	議長事項 議長事項 議長事項	令和3年度会計補正予算の承認について 令和3年度事業報告書並びに会計決算書の承認について 理事の選任について
4年12月15日	書面決議 議長事項	理事1名の選任について
5年3月24日	議長事項 議長事項	令和4年度 補正予算（案）について 令和5年度 事業計画及び予算（案）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
4年5月25日	令和3年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案	件
4年6月9日	議長事項	評議員2名の解任・1名選任について
4年12月13日	議長事項	評議員1名の解任・1名選任について

○役職員研修会

開催日	研 修 内 容
5年9月29日	「福祉サービス 対人支援の基本について」 講師 平田 妃都美氏（滋賀県介護福祉士会 理事） 出席役職員数 38 名
開催日	研 修 内 容
5年2月8日	「人権研修」 講師 杉本 正紹氏（滋賀県人材センター） 出席職員数 37 名

研修名	市主催「出会い・気づき・発見講座」①～③ 市主催「豊かなつながり創造講座」④～⑧
開催日 【内 容】	① 10月13日（木）【 無意識の偏見 】11名 ② 10月27日（木）【 子どもの人権 】7名 ③ 11月17日（木）【 身近な人権 】13名 ④ 9月29日（木）【 部落差別 】11名 ⑤ 11月9日（水）【 女性 】2名 ⑥ 11月29日（火）【 高齢者・障がいのある人 】3名 ⑦ 12月3日（土）【 外国人 】6名 ⑧ 12月16日（金）【 障がいのある人 】10名 出席職員63名（オンライン受講含む）

研修名	交通安全研修会「DVD 講座」
開催日	① 2月17日（金）午後1時～午後4時 3回 ② 2月9日（火）午後1時～午後4時 3回 ③ 2月21日（火）午後1時～午後4時 3回 ④ 2月22日（木）午後4時～午後5時 1回 ⑤ 2月24日（水）午前10時～午前11時 1回
内容	交通安全「生活道路での交通事故を防ぐために」 出席職員 44 名

○第三者委員の設置と委員会

委員名	澤九仁男、植村恵子、古岡裕子
開催日	案 件
4年8月4日	・福祉サービス苦情体制について ・令和3年度福祉サービス苦情状況報告

○社協会費の納入依頼と徴収

- 7月 世帯社協会費依頼と徴収 ( 5,531,480 円) ※前年 5,491,260 円  
 8月 法人・事業所社協会費依頼と徴収 ( 717,000 円) ※前年 762,670 円  
 (計 6,248,480 円) (計 6,253,930 円)
- ・高額社協会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載  
 対象 6 社 (前年 7 社) 掲載 5 社 (前年 5 社)

【福祉サービスの提供】

(1) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス)

①介護保険認定者 (要介護者) にホームヘルパーを派遣する。

- ・サービス計画に基づいて、生活援助・身体介護・通院時乗降時介護サービスの提供
- ・県登録喀痰吸引等事業者として関係医療機関等の医師、看護師と連携しながら、訪問介護職員によるたん吸引等の介護サービスの提供

②介護予防・日常生活支援総合事業

ひとり暮らしなどで、日常生活を営むのに支障がある要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に対し、家事の援助を行うホームヘルパーを派遣する。

- ・週 1 回、または週 2 回の生活援助に相当するサービスの提供

介護保険	介護予防日常生活支援総合事業
利用者 延べ 808 名/年 ＜昨年 707 名/年＞	利用者 延べ 179 名/年 ＜昨年約 176 名/年＞
約 67 名/月＜昨年 58 名/月＞	約 15 名/月＜昨年 14 名/月＞
訪問回数 延べ 11,291 回 ＜昨年 10,507 回/年＞	訪問回数 延べ 1,145 回 ＜昨年 1,599 回/年＞
約 941 回/月 ＜昨年 875 回/月＞	約 95 回/月 ＜昨年 133 回/月＞

③介護保険適用外サービスの提供

利用者から要望、承諾があった場合、訪問介護事業等を実施する中で、利用者の生活状況や身体状況から、家事援助や身体介護、通院付添いの介護保険適用外サービスを提供する。

介護保険外サービス	
利用者 延べ 120 名/年 約 10 名/月	＜昨年 133 名/年＞ ＜昨年 約 11 名/月＞
訪問回数 延べ 499 回	＜昨年 延べ 569 回＞
約 41.5 回/月	＜昨年 47.4 回/月＞

8. その他(おもな事務局事務ならびに出役した委員会)

事務局

- ・ 湖南市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ 滋賀県共同募金会湖南市共同募金委員会事務局
- ・ 日本赤十字社滋賀県支部湖南市地区事務局
- ・ 遺族会、その他福祉団体等の事務補助
- ・ 湖南市介護保険事業者協議会事務局

市関連

- ・ 湖南市総合計画策定委員会
- ・ 湖南市民生委員推薦会
- ・ 湖南市地域福祉推進協議会
- ・ 湖南市子育て支援センター運営委員会
- ・ 湖南市要保護児童対策地域協議会
- ・ 湖南市子ども、子育て未来会議
- ・ 湖南市訪問看護ステーション運営委員会
- ・ 湖南市地域包括支援センター運営協議会（部会）
- ・ 湖南市地域支えあい推進会議
- ・ 湖南市介護保険運営協議会
- ・ 湖南市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（部会）
- ・ 湖南市在宅医療介護連携推進協議会
- ・ 自立支援型地域ケア会議
- ・ 湖南市高齢者虐待防止対策推進協議会
- ・ 湖南市障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員会
- ・ 湖南市障がい者の人権を守るための連携協議会
- ・ 湖南市障がい者施策推進協議会
- ・ 湖南市福祉有償運送運営協議会
- ・ 湖南市人権まちづくり会議
- ・ 湖南市人権擁護審議会
- ・ 湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会
- ・ 隣保館支援方策検討会（三雲、夏見、石部）
- ・ 湖南市自殺対策計画策定委員会
- ・ 健康づくり湖南推進協議会
- ・ 湖南市交通安全推進協議会
- ・ 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏—かなで—』運営会議（部会）
- ・ 湖南市青少年育成市民会議
- ・ 甲賀地域障がい児・者サービス調整会議（全体会議、部会）
- ・ 甲賀・湖南成年後見センターぱんじー（なんでも相談、講座）
- ・ 市内各地域まちづくり協議会（支えあい推進会議、委員会、部会）